

日時	オンラインカリキュラム	持ち物	学習目的	通信カリキュラム/レポート提出
	オンラインでの講義となりますので ご自宅など集中できる環境で、 PC、マイク、スピーカー、通信環境等 をご用意の上ご受講してください、			事前課題 「キャリアコンサルタント養成講座を受講するに当たり、下記の点について自身の考えを論述しなさい」 1. 資格を取りたいと思った理由 2. 資格を取った後どのように活躍あるいは資格を活かしていきたいか 3. 自己紹介 ※1 キャリアカウンセリングのための能力診断(他者診断) ※2 経歴書/実務実績報告書
1日目 9:00~ 22:00	キャリア開発ワークショップ(CDW) 講義:キャリア開発の考え方 個人ワーク 体験:キャリア・カウンセリング		自分自身のキャリア開発に取り組む。 自己理解、仕事理解、職業能力開発支援とは何かを理解するために、自分自身のキャリアプランニングを行い、自分自身の働く意味の明確化を行い、他者との違いを理解することで、支援者のあり様を学ぶ。組織のキャリア開発事例から、キャリア形成支援の具体的な人事制度施策を学ぶ。	キャリア開発ワークショップ(CDW) レポート提出(1)
2日目 8:30 ~18:00	個人ワーク 体験:グループカウンセリング			
3日目 9:00~ 19:00	キャリアコンサルタント概論 キャリアとは 不確実な社会でのキャリア開発 カウンセリングプロセス キャリア・カウンセリングに求められること キャリア・コンサルタントの要件		キャリア・コンサルタントが日本の社会の中で必要とされている状況や経緯を学び、世の中で役に立つためのキャリア・コンサルタントとは、何か、キャリア開発とは何か、キャリア・コンサルタントとは何かについて、理解をする。 キャリア教育について、学校期への日本の制度の理解や、生涯学習、生涯発達について学ぶ。	キャリアコンサルタント概論 事前学習課題:① キャリアコンサルティングとは 事前学習課題:②日本の産業構造とキャリア・カウンセリング 事前学習課題:③キャリア教育の必要性和重要性 添削問題 レポート提出(2)
	メンタルヘルス メンタルヘルスとは		メンタルヘルスの基礎を学ぶ、精神疾患の概略の理解。 面接における相談者の特性について学ぶ。 職場での精神疾患患者の対応や、障害者への配慮、就労困難者への対応を学ぶ。	メンタルヘルス 事前学習課題:④職場における心の健康づくり 事前学習課題:⑤引きこもりの評価支援に関するガイドライン 事前学習課題:⑥LGBTBの就労支援について考える 事前学習課題:⑦職場のパワーハラスメント対策ハンドブック 事前学習課題:⑧事業所における治療と職業生活の両立支援のためのガイドライン 添削問題 レポート提出(3)
4日目 9:00~ 18:00	職業理解/自己理解 仕事とは 人事制度 職業能力開発 企業のキャリア開発事例・人事制度 自己理解に関する理解 「自己理解」支援 アセスメントの基礎	書籍「キャリア コンサルティング理論と実際」 24図	仕事とは何か?仕事・職業・職務の違いを理解し、職業能力開発の必要性の意味を理解する。人事制度や職種についての理解をする。 自己理解について学ぶ。自己理解とは何か、自己理解を支援することとは何か。 自己理解を助けるアセスメントについて統計と理論からなる構造を知り、適切な使用方法を学ぶ。	職業理解/自己理解 事前学習課題:⑨人事労務管理に関する理解 添削問題 事前学習:⑩ 書籍:「キャリアコンサルティング理論と実際」
5日目 9:00~ 19:00	カウンセリング理論 キャリアカウンセリングを学ぶ意義 倫理 理論・アプローチの概説 理論・アプローチの選定 キャリアの分析	書籍:「新版 カウンセリング心理学」 書籍:「新版 キャリアの心理学」	キャリアコンサルタントの養成で「キャリアカウンセリング心理学」を学ぶ意味を理解することは不可欠である=社会的責任を果たせるために、カウンセリング心理学、キャリア・カウンセリングを学ぶ。 キャリア行動理論の理論家の理論を学び、現実の社会の中にある個々の事例を、概念化することによって、キャリア開発支援の全体像を学ぶ。	カウンセリング理論 事前学習課題:⑪書籍:「新版カウンセリング心理学」 事前学習課題:⑫書籍:「新版キャリアの心理学」 添削問題 レポート提出(4)
6日目 9:00~ 18:00	カウンセリング演習 1日目 アサーショントレーニング	書籍:「ア サーション トレーニング」	人間関係において、お互いの人権を尊重する態度をして「アサーティブな態度(自他を尊重する態度)」が望ましいと考えキャリアコンサルタント資質をはぐくむために、自己の価値観の点検や、表現の仕方の点検を行い、他者も大事にしながら自分も大事にする、自己表現の仕方を学ぶ。	事前学習:⑬ 書籍:「アサーショントレーニング」
7日目 9:00~ 19:00	2日目 理解度確認試験 1H グループワーク カウンセリング実習 基本的な態度3条件の理解と実践		集団へのキャリア形成支援をするためのグループへの介入ファシリテーションの基礎を学ぶ。キャリアカウンセラーの在り方として、「知識・理論」「実践・スキル」「在りよう・人間観」の3つの成長を目指すことが大切であり、また、カウンセラーの基本的態度として、ロジャースの態度3条件・「受容」「共感的理解」「自己一致」を理解し、実践ができることを訓練する。	事前学習:⑭ 書籍:「カウンセリングとは何か」
8日目 9:00~ 18:00	3日目 1. カウンセリングの目的 2. 傾聴の意義、態度 3. 傾聴技法の確認 4. なぜ聴けないのか 5. カウンセリングプロセス 6. カウンセリング面接の流れの理解	録音機材(IC レコーダーま たは、スマホ など再生で きる媒体)	具体的な面接の訓練を行い指導をする。 なぜ技法が有効なのか、また、なぜ傾聴することができないのか、実際にロールプレイを取りながら学ぶ。	
9日目 9:00~ 19:00	4日目 カウンセリングのアプローチ カウンセリングの展開、終結 演習:逐語記録 逐語記録の書き方 ロールプレイ面接録音	録音機材(IC レコーダーま たは、スマホ など再生で きる媒体)	主訴のとらえ方、見立て、面接の進め方、展開方法、質問の仕方、面接の終わらせ方を学ぶ。 逐語録作成方法を学び、ロールプレイを録音して、逐語録の材料を持ち帰る。	レポート提出:(5)逐語録
10日目 9:00~ 18:00	キャリアガイダンス キャリア・ガイダンスの6分野 キャリア・ガイダンスの実践 キャリア形成に関連する労働法と雇用政策 労働市場と求職活動 多様な働き方 ジョブカード面接の実習 演習:キャリアシート(ジョブ・カードの活用)	書籍「キャリア コンサルティング理論と実際」	労働法、雇用問題、キャリア形成に関する施策の理解する。様々な労働形態を学び、就職支援・再就職支援の実際を学ぶ。 キャリアシート、ジョブカードの作成指導	キャリアガイダンス 事前学習資料:⑮ジョブカードテキストおよび新ジョブカード制度理解のための学習(映像) 事前学習資料:⑯映像学習 事後学習資料:⑰「キャリアコンサルティング関連情報集」 事後学習資料:⑱「知って役に立つ労働法」
	5日目 面接訓練 ロールプレイ演習		事例を使ったロールプレイによる主訴と見立ての理解を確実にするため、主訴と見立てを話し合いながら理解する。	事前学習課題:⑲ ワーキング心理学(作田稔) 添削問題
11日目 9:00~ 19:00	事例研究 理解度確認試験 1H 個人の面接事例		個人の面接事例から、具体的な相談者の主訴や、価値観の多様さ、面接の方向性を学ぶ。	事例研究 事前学習:⑳事例研究
12日目 9:00~ 18:00	スーパービジョン スーパービジョンとは グループスーパービジョン キャリア・コンサルタント役割を担うために必要な要素 ネットワークの形成、自己研鑽の必要性	録音機材(IC レコーダーま たは、スマホ など再生で きる媒体)	スーパービジョンを受ける目的自己研鑽の実用性や方法を学ぶ、キャリア形成支援者としての自身のあり様を自覚し、研鑽していくことを学ぶ。	
※3 修了証はレポート返却と一緒に郵送いたします。				修了課題 レポート提出:(6)

※1 キャリアカウンセリングのための能力診断(他者診断)は、指定の様式に上司などの方に記載を依頼したものをご準備ください。

※2 経歴書/実務実績報告書 指定の様式にご記載ください。実務実績報告書は面談経験がある方のみ記載ください。